

## 令和2年度 下水道技術海外実証事業の評価項目および配点

|       |             |          | 配点  | 評価の段階                                                         |                                                              |                                                      |                                                 |                                               |
|-------|-------------|----------|-----|---------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|-----------------------------------------------|
|       |             |          |     | A                                                             | A'                                                           | B                                                    | B'                                              | C                                             |
| 実現性   | 工程計画        |          | 10  | 工程計画が極めて適切である(10点)                                            | 工程計画が妥当である(7点)                                               | 工程計画が概ね妥当である(5点)                                     | 工程計画の適切さにやや欠ける(3点)                              | 実証事業が年度内に終了しない可能性があり、工程計画が不適切である(0点)          |
|       | 実施体制        |          | 10  | 実証技術の普及展開に向け、実証試験等が実施できる体制が整えられており、且つ担当者が海外での豊富な実績を有している(10点) | 実証技術の普及展開に向け、実証試験等が実施できるような体制が整えられており、且つ担当者が海外での実績を有している(7点) | 実証試験等が実施できるような体制が整えられており、且つ担当者が海外での実績を有している(5点)      | 実証試験等が実施できるような体制が整えられているが、担当者の海外での実績が乏しい(3点)    | 実証試験等を実施するための体制が整っていない(0点)                    |
|       | 課題・ニーズの把握   |          | 20  | 現地の下水道に係る課題・ニーズの整理が優れている(20点)                                 | 現地の下水道に係る課題・ニーズが整理されている(15点)                                 | 現地の下水道に係る課題・ニーズが概ね整理されている(10点)                       | 現地の下水道に係る課題・ニーズの整理がやや不十分である(5点)                 | 現地の下水道に係る課題・ニーズの整理が不十分である(0点)                 |
|       | 小計          |          | 40  |                                                               |                                                              |                                                      |                                                 |                                               |
| 有効性   | 技術の確認       | 実証項目及び目標 | 15  | 実証試験の目標が明確であり、実証項目が適切に設定されている(15点)                            |                                                              | 実証試験の目標および実証項目が設定されている(8点)                           |                                                 | 実証試験の目標および実証項目の設定が不明確である(0点)                  |
|       |             | モニタリング   | 15  | 経過観察による評価が適切に行われるよう、モニタリングの時期・回数・場所が適切に設けられている(15点)           |                                                              | 経過観察による評価が適切に行われるよう、モニタリングの時期・回数・場所が最低限度、設けられている(8点) |                                                 | 実証試験のモニタリングが不十分であるため、経過観察による評価が不可能(0点)        |
|       | 課題・ニーズとの適合性 |          | 20  | 実証試験の技術と現地の課題解決・ニーズの適合性が極めて高い(20点)                            | 実証試験の技術と現地の課題解決・ニーズの適合性が高い(15点)                              | 実証試験の技術と現地の課題解決・ニーズが適合している(10点)                      | 実証試験の技術と現地の課題解決・ニーズの適合性がやや低い(5点)                | 実証試験の技術と現地の課題解決・ニーズの適合性が低い(0点)                |
|       | 小計          |          | 50  |                                                               |                                                              |                                                      |                                                 |                                               |
| 普及可能性 | ビジネス戦略      |          | 20  | 現地の課題に適合したビジネス戦略が極めて明確であり、現地での普及展開が大いに期待できる(20点)              | 現地の課題に適合したビジネス戦略が明確であり、現地での普及展開が期待できる(15点)                   | 現地の課題に適合したビジネス戦略が概ね明確であり、現地での普及展開の可能性はある(10点)        | 現地の課題に適合したビジネス戦略がやや不明確であり、現地での普及展開の可能性がやや低い(5点) | 現地の課題に適合したビジネス戦略がやや不明確であり、現地での普及展開の可能性が低い(0点) |
|       | 事業効果        |          | 20  | 実施都市に提案技術の導入実績がなく、実証事業を通じて同技術への理解が深まり、今後の普及に大いに期待できる(20点)     | 実施都市に提案技術の導入実績があるが、実証事業を通じて同技術への理解が深まり、今後の普及に大いに期待できる(15点)   | 実施都市に提案技術の導入実績がなく、実証事業を行うことで、同技術の信頼性や普及の可能性が高まる(10点) | 実施都市に提案技術の導入実績があるが、実証事業を行うことで、今後の普及に期待できる(5点)   | 現地に提案技術の導入実績があり、今後の普及に対して本実証事業の効果が見込まれない(0点)  |
|       | 自主活動        | 積極性      | 10  | 自ら極めて積極的に現地政府や市民へのPRを行うことにしている(10点)                           | 自ら積極的に現地政府や市民へのPRを行うことにしている(7点)                              | 自主的に行う現地政府や市民へのPRが限定されている(5点)                        | 自主的に行う現地政府や市民へのPRの積極性が乏しい(3点)                   | 自主的に行う現地政府や市民へのPRに積極性が見受けられない(0点)             |
|       |             | 実効性      | 10  | 極めて現実的かつ効果的な自主活動になっている(10点)                                   | 現実的かつ効果的な自主活動になっている(7点)                                      | 概ね現実的かつ効果的な自主活動になっている(5点)                            | 自主活動の現実性・効果がやや不明確(3点)                           | 自主活動の現実性・効果が不明確(0点)                           |
|       | 小計          |          | 60  |                                                               |                                                              |                                                      |                                                 |                                               |
| 合 計   |             |          | 150 |                                                               |                                                              |                                                      |                                                 |                                               |